

## ●はじめに

この度は、同軸避雷器ARS6000をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ARS6000は、屋外のアンテナに、誘導雷が落雷したときに発生するサージ電圧を吸収して、地面に流すことにより無線機器を保護することができます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見れるところに大切に保管してください。

## ●特徴

☆本製品は一定電圧以上のサージ電圧が生じると、放電して接地するガス封入式のサージアレスター素子を内蔵していますので、極めて安全性に優れています。

☆サージアレスターは、一定電圧で放電・復帰を何回でも繰り返し動作しますので、交換の必要はほとんどありません。

☆本製品は同軸管構造なので、高周波特性がよく広帯域・低損失・低VSWRです。

## ●部品の確認

部品が全部そろっていることをご確認ください。

- ・本体
- ・圧着端子 (M3ネジ付属)
- ・取扱説明書

## ●規格

使用温度範囲：-30℃~+85℃

保存温度範囲：-30℃~+85℃

許容電力：10W

公称特性インピーダンス：50Ω

定格周波数：6GHz

衝撃波電流耐量：10kA印加で内部にスパーク等の発生のないこと  
(8/20)  $\mu$ s, 10kA, 1回

適合コネクタ：(IEC Pub. 60169-8 Type N) に異常なく結合及び離脱ができること

直流放電開始電圧： $\geq 150V$ で放電すること 100V/s

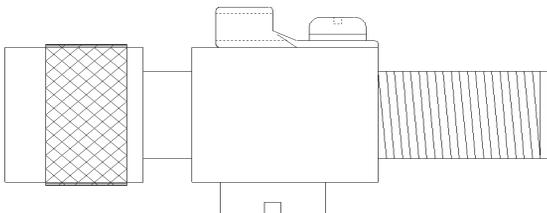
衝撃波放電開始電圧： $\leq 700V$ で放電すること 1kV/ $\mu$ s

絶縁抵抗：DC100V 100M $\Omega$ 以上

電圧定在波比： $\leq 1.2$  ~3GHz,  $\leq 1.4$  ~6GHz

挿入損失： $\leq 0.3dB$  ~3GHz,  $\leq 0.6dB$  ~6GHz

## ●外観図



ARS6000-NPJ

## ●取付け方法

避雷効果を高めるため、できるだけアンテナの近くに設置してください。

接地端子に2.5 $\phi$ ~3.2 $\phi$ の銅線を半田付けし、銅線の先端を大地に埋設した避雷用アースに接続します。

本製品と大地との接続距離はできるだけ短くしてください。

☆ 避雷用アースは次の点に注意して、確実に行ってください

- ① アンテナに使用する場合、単独のアースとすること。電力保安用アース（感電防止用）と共用しないでください。
- ② 接地抵抗値はできるだけ小さくしてください。
- ③ 銅板を大地に埋設するなどし、接地電極の表面積を広くし、土壌との接触面積を大きくするようにしてください。
- ④ 他のアース回路とはできるだけ隔離してください。
- ⑤ 詳細は、アースに関する専門書をご参照いただくか、専門の工事業者にご相談ください。
- ⑥ 本製品は防水構造ではありませんので、屋外に設置する場合は、防水処理を施すか、防水ケース内に設置してください。

## ●使用上のご注意

☆ 本製品は、誘導雷などのサージ電圧を抑制しますが、接続されている機器に対する動作不良や破壊を完全に防ぐものではありません。

☆ 地上高が高いアンテナ・タワーなどをご使用の場合は、アンテナ・タワーやルーフタワーなどの基部をできるだけ太い線（断面積30mm<sup>2</sup>以上の銅線または50mm<sup>2</sup>以上のアルミ線）で接地すると共に、タワー上のアンテナ直下に本製品を取り付け、本製品のアースをタワーに通して接地するようにすると効果的な避雷対策となります。

☆ 本製品は、誘導雷などのサージ電圧に対しては効果的ですが、落雷による数万アンペアの大電流に対しては効果がありません。落雷対策としては、避雷針設備と前述の太い線での接地を施してください。

また、市販のACライン用やネットワーク用のサージ・プロテクタを併用することにより、より一層の雷対策が可能です。

☆ 本製品および付属ケーブルをの無線LAN製品に取り付けた場合、ケーブル損失が増加するため、通信距離が短くなることがあります。



## 注意

- ① 雨の日や風の強い日など、悪天候での本製品の取付けは危険ですのでおやめください。
- ② 屋根の上などに設置する場合は複数の人で安全を確保してから行ってください。
- ③ 高所に設置のとき、本製品や付属品、工具などを落下させないようにしてください。